

<アイデア部門用>

5 空き家の概要

所在地	魚津市 空き家 No.2(魚津市文化町)		
物件概要	敷地面積	m ²	
	利活用時床面積	1階	m ² 2階 m ²
	建築時期	年頃	
	構造と階数	造 階建て	
	用途	利活用前	利活用後

6 提案内容

《テーマ》※提案書にも記載してください。

各々を活性化できる集いの場

《コンセプト》※提案書にも記載してください。

エマウスの家

ピエール神父（1912-2007）は裕福な家庭に生まれながら、資材を投じて生涯を慈善事業に費やしたフランスのカトリック教会司祭です。フランスでは彼の信念に則った「エマウスの家」が各地にあります。そこでは、不用品を回収し、ボランティアがそれを修復したり価値を与えたりして販売をし、同時にホームレスなど現代社会に何らかの理由で適合できなくなった方に活動の場を与え、社会参加を促し、また団体の活動が活発になれば、雇用も生み出すという画期的なシステムなのです。

「エマウスの家」はその名の通り、多くは古い大きめの一軒家や廃墟となった事業所などを活用します。例えば台所では不要品として回収された家具やキッチン用品を陳列し、活動資金源となるように販売を行います。それは台所の可能性にアイデアを与え、不用品と思われたモノに価値を与え、その価値観をどうやって見出させるかに皆でアイデアを凝らすのです。

空家 No.2 では店舗部分でのリサイクル商品の陳列だけにとどまらず、生活空間に入り込んだ商品に付加価値をつけた陳列が可能です。

今日、掲げられているSDGs（持続可能な開発目標）の多数の目標の達成可能な場になりうるすることができます。

《内容》

不用品や生産物、産業の価値観を見出せる場の提供と販売による基盤となる資金調達

7 工夫した点

どこにでもありえる一軒家を丸々活用

それを最大限に利用できるアイデア提案と価値観を見出す取り組み

8 アピールポイント

古く一見不要とされた物への付加価値の提案と運営資金の調達方法の提案